

<<エコキャップ>>

私たちの会社のある藤沢市ではゴミの分別が進められています。

その分別という行為の中で、ペットボトルについているプラスチックの包装紙を剥がしたり、キャップを取り外しています。

その小さなキャップでも混ぜればゴミ、分ければ資源となります。



外したキャップそのものを、質の高い素材として、リサイクル業者に引き取ってもらいます。

その売却益をワクチン購入資金として日本赤十字社・JCV（世界の子供にもワクチンを日本委員会）へ寄付します。

その寄付金を、世界の子供たちを救う為に活用するという活動を行っているそうです。



キャップは400個で10円になり、ポリオワクチンは1人分20円です。
つまり、**20円で1人の子どもの命が救える**訳です。

因みに、ゴミとして焼却処分されると、キャップ**400個で3.150gのCO₂**が発生します。

その取り組みに、弊社も賛同し取り組むことになりました。

私たちは快適な地球環境を創造し社会に貢献する会社です。少しでもお役に立てるよう今後も活動していきます。

皆様は、3Rをご存知ですか？

3Rとは

- ①【Reduce】
⇒減らす（ゴミの抑制）
 - ②【Reuse】
⇒再び使う（ゴミの再使用）
 - ③【Recycle】
⇒再資源化（ゴミの再生利用）
- の頭文字をとった言葉。



①～③の順番で、廃棄物の削減に勤めるときの優先順位を示しています。

再利用もいいですが、それより再使用のほうがよく、最もいいのが初めからゴミをなるべく出さない（減らす）方がいいという考え方です。



～アンケートのご協力をお願いします～

9月～10月の間、アンケートを実施させて頂いております。

その為、FCCニュースの10月号にはアンケート用紙を同封させて頂いております。

施工時にも配布させて頂いておりますので、既にご記入頂いているお客様もいらっしゃるかと思いますが、何卒ご協力お願い申し上げます。

地球の環境衛生を創造する
株式会社 FCC
fine, comfortable & creative

株式会社 FCC

住所：神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

電話 0466-31-3164

FAX 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

FCC News

2007年10月号

NO.0045



秋の七草

【萩・薄・葛・女郎花・藤袴・桔梗・撫子】
左から「はぎ」「すすき」「くず」「おみなえし」「ふじばかま」「ききょう」「なでしこ」と読みます。
因みに上の写真は『女郎花』です。

皆様は、幾つ知っていましたでしょうか？

春の七草と違って、秋の七草に直接何かをする行事がある訳ではありません。

秋の七草は、春の七草とは違い、摘んだり食べたりするものではなく、眺めて楽しむものです。

たけしの独り言

この会社に入社してもう少しで半年近くになるとうとしています。

『正直、私は虫が大の苦手です。』

生まれた所が自然も豊富だった事もあり、幼い頃は平気で色々な虫を捕まえて遊んでいました。

しかし、年齢を重ねるにつれて今まで気にしていなかった事が気になる様になりました。

それはこちらから望んでもいないのに至る所に出現したり、気付くと集団になっていたたり、鼻をつく独特の匂い…



いつの間にか、「カッコイイ↑」というよりは「気持ち悪い↓」と思う様になっていました。

しかし今の私にはそんな虫達と切っても切れない存在になるなんて…

でも人間の適応性と言いますか、『慣れ』とでもいいでしょうか？

最近では当社のベイト剤を美味しそうにモリモリ食べてくれるチャバネゴキブリ達が

『ダースベーダー』

に似てて

「カッコイイ↑↑」

と思える様になったのは私だけでしょうか…？



スズメバチによる被害

10月は、まだまだハチの活動期です。



特に、スズメバチの被害は9月が最も多く、その前後にも活発に活動します。

スズメバチに刺されない為に…

ハチに刺されない為には、何よりハチを興奮させないことです。1匹でも興奮させると攻撃フェロモンを発し、周りのハチも興奮するので注意しましょう。



注意すべきことは、スズメバチの天敵である熊の色である黒色の服を着ないこと。また、においの強い香水を付けることも危険です。

刺されてしまったら…

運悪く刺されてしまったら、落ち着いて傷口を洗います。毒液を搾り出すなどの素人診断は禁物です！



そして、ハチは毒よりもアレルギー反応のほうが危険です。アレルギー体質の方は2度目に刺されたときに免疫反応が起こり危険な状態に陥ることがあります。これをアナフィラキシーと言います。

刺されたときは、素人による治療はせずにすぐに医者へ行きましょう。

日本の『四季』が危ない！？

今夏、多治見市（岐阜）と熊谷市（埼玉）で40.9℃を記録、国内最高気温を74年ぶりに塗り替えました。



これは、太平洋ペルー沖とインドネシア近海で活発に対流活動を行っている『ラニーニャ現象（※1）』が原因と考えられています。

※1. ラニーニャ現象

南東貿易風が強まり、西に向かう海流が強まるため、ペルー沖では深海からの冷水が湧き上がり、水温が低くなる現象。

ラニーニャ現象が起きると、夏は猛暑、冬は厳冬になりやすい傾向にあります。その為、『秋』の期間が短くなってしまいます。

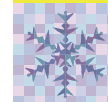


その上、温暖化やヒートアイランド現象（※2）も、『長い夏』をもたらす要因になっています。

※2. ヒートアイランド現象

都市部で、建物や道路の蓄熱、人工排熱などによって郊外よりも温度が高くなる現象。

特に東京ではヒートアイランド現象の影響もあり、ここ100年間でおよそ3℃も気温が上昇しています。



『長い夏』と『厳しい冬』…

日本の情緒を支える『四季』が今、失われていようとしているのかもしれない。

温暖化やヒートアイランド現象は、一人一人の取り組みで改善することは可能です。



クールビズ、エコドライブ、リサイクル…細かい事まで合わせれば、一個人でもやれる事は無数に存在します。

私たちも、日々できる事を考え、実行していきたいと思います。